

デジタルトランスフォーメーション(DX)って必要なの？

皆さんこんにちは。燕商工会議所
会員の恩田です。

今回は第三回目となります。前回の
コラムでは、「アナログ業務のデ
ジタル化」をやってみませんか？と
お伝えしました。

実はこれ、業務をデジタル化する
ことで、データ(情報)もデジタル
化することになりますよね。紙など
でデータを保管していると、探すど
きの手間とか、保管場所の確保など、
何かと大変かと思いますが、デジタ
ルで保管できるようになると、色々
と解決できそうです。

でも、業務もデータも多種多用。
色々あって大変ですね。いきなり、
全部の業務を、全部のデータをデジ
タル化しましょうといっても、なか
なか思うように進まないかと思いま
す。まずは、取り組みやすいツール
の導入からスタートし、段階的にデ
ジタル化する業務工程の種類・範囲
を広げていくことが重要かと思ひ

ます。

例えば前回紹介したSFTC(ス
マートファクトリーツバメクラウド
=燕版共用クラウド)は、まずは受
発注業務からといった部分的なこと
から進められますし、クラウドサー
ビスなのでパソコンとインターネット
環境があれば簡単に利用でき
ます。

DXについて皆さんと一緒に考え
ていきませんか、とスタートしたコ
ラムですが、いかがでしょうか？も
し、簡単に進められるなら何かやっ
てみようかな、とか、こんなことや
てみたい、こんなことできるのかな、
などありましたらお気軽にご相談下
さい。

次回からはもう少し詳しくDXの
進め方についてお伝えしたいと思います。

株式会社ウイング
県央R&Dオフィス 恩田 実